

「スヌーズレン教育の基礎と活用法」

姉崎 弘 常葉大学教授
ISNA日本スヌーズレン総合研究所・名誉会長

小嶋 尚人 一般社団法人 剣路福祉会
椎野 美香 「音と光の森ルミネ実践紹介」

椎野 美香 一般社団法人 剣路福祉会

スヌーズレン器材の紹介 株式会社フィルノット、株式会社ピーエーエス、三笠産業株式会社

第11回

オンライン・スヌーズレン研修会 (Zoom)

開催日

2022年12月4日(日)
10:00~15:00 (Zoom入室:9:30~)

オンライン

Zoomを使用致します。お申し込み頂き参加費のお振込み確認ができましたら、Zoomのリンクアドレスをメールにて送付致します。

オンラインでの
注意事項

- ・通信障害による返金には一切応じませんので、ご了承の程よろしくお願い致します。
- ・録画はできません。
- ・個人を確認するためにビデオONをお願いしております。
- ・入室後に参加者ご本人のお名前が表示願います。
- ・講演中は、音声ミュートをお願い致します。
- ・個人の申込みでありながら団体での視聴はご遠慮下さい。
- ・Zoomのリンクは、申込者以外の転送を禁じます。

スケジュール

9:30~	Zoom 入室可
10:00~	事務局長挨拶(日程の説明・講師紹介) 事務局長 小嶋尚人 【基調講演】
10:10~11:10	姉崎弘(常葉大学)
11:10~12:10	オンライン企業展示会(3社:各15分)
12:10~13:00	休憩(ブレイクアウトセッション準備)
13:00~13:30	小嶋尚人・椎野美香(一般社団法人 剣路福祉会)
13:30~13:40	休憩(ブレイクアウトセッション準備)
13:40~14:40	グループ別情報交換会(ブレイクアウトセッション)
14:40~14:50	研修会全体での質疑応答
14:50~	まとめ・閉会の挨拶

参加費
(お一人様)

一般:5,000円、会員(サポート研究員):3,000円、
大学院生・学部生:2,000円

※事前入会をお奨め致します。サポート研究員になると様々な特典があります。
※1つのZoomで複数人が視聴される場合は、参加費の人数分を代表者がまとめてお支払いください。また、申込みの際にコメント欄に参加人数・氏名をご記入ください。

申し込み
方法

ISNA日本スヌーズレン総合研究所のホームページ(<http://snoezelen-research.jp/>)にて、研修会参加申込みフォームのリンクよりお申し込みください。または、裏面にあるQRコードで研修会参加フォームに入ることができます。参加費は事前振込制です。参加申し込み後、メールアドレスに請求書を送付致します。また、参加費の振込が確認できましたら、Zoomの入室リンクを送付致します。

研修会に関するお問い合わせは・・・ISNA日本スヌーズレン総合研究所・事務局
E-mail: snoezelen.jsri@gmail.com までご連絡ください。

スヌーズレンとは…
1970年代にオランダの重度知的障がい者施設においてやすらぎの活動やリラクゼーションの一手法として始められた活動です。スヌーズレンの語源はオランダ語の「フンクン(音をかく)」「ウアウア(音程をさげる)」「のめ(命を返す)」からなり、今日では、世界中の福祉施設や学校、病院、個人宅などでさまざまな障がい者や病気の有る人々などを対象としたレクリエーションや教育、セラピーの方法として広く活用されています。

定員 50名
(先着順)

第11回 オンライン・スヌーズレン研修会 (Zoom)

テーマ 「楽しく実践スヌーズレン」

昨年度の第10回オンライン・スヌーズレン研修会では、北は北海道から南は沖縄まで全国から多くの参加者がお申し込み頂きました。新型コロナウイルスが蔓延し、人と人が直接会うことすら制限される時代ですが、逆のオンラインツールを活用することでご自宅や職場から気軽にスヌーズレンの講義を聞き、他の施設でのスヌーズレン実践などの状況も知ることでできるようになったのです。研修会終了後のアンケートでは、批判的なご意見はなく、とても高評価であったことに改めて感謝申し上げます。

さて、今回の第11回オンライン・スヌーズレン研修会ですが、教育的側面から午前「基調講演」を配置し、午後は福祉の側面から「理論・実践研究報告」として実践事例を配置しました。基調講演の講義内容では、姉崎先生より「スヌーズレン教育の基礎と活用法」として、特別支援学校などの教育の場でのスヌーズレン教育に関する教育的

側面からの事例をご紹介します。実践研究報告では、国内初のグル型スヌーズレンルームを持つ小嶋先生より「音と光の森ルミネ」での活動報告と、椎野先生による手作りスヌーズレンのアイデアなども含めた事例をご紹介します。また、前回のオンライン・スヌーズレン研修会でも好評であり、研修会終了後アンケートにもご要望がありましたグループ別情報交換会(ブレイクアウトセッション)では、児童・成人・高齢者の3つのグループに分かれ、興味のあるカテゴリでの意見交換や質疑応答ができるよう、交流できる場を設けました。スヌーズレン器材を取り扱う企業様のオンライン展示説明も配置しております。これから施設内でスヌーズレンを始めたい方、現在スヌーズレンを実践している中で知識をブラッシュアップしたい方など、多くのご参加を心よりお待ちしております。



あねざき ひろし
姉崎 弘

筑波大学大学院教育研究科障害児教育専攻修了。静岡県立養護学校教諭(13年間)、三重大学教授を経て、現在常葉大学教育学部教授。現在、ISNA日本スヌーズレン総合研究所名誉会長。元国際スヌーズレン協会(ISNA)International Board、ISNA日本支部・全日本スヌーズレン研究会初代会長。国際スヌーズレン専門支援士取得。
※現在年に数回、全国の特別支援学校や障がい者施設などでスヌーズレンの講演と指導助言を行っている。

1993年 肢体不自由養護学校勤務時代に、授業の中で「光と音楽」のファンタジーの世界を創出して共感を重視したスヌーズレンの授業を行う。
2003年 第2回国際スヌーズレンシンポジウム(オランダ)で研究発表。
2003~2006年 三重県津市療育センターでスヌーズレンの療育実践を行う。
2008年 ベルリン・フンボルト大学リハビリテーション科学研究在外研究員。(スヌーズレン研究の第一人者クリスタ・マーテンス博士の元でスヌーズレンの研究に従事)
2009年 スヌーズレンの研究の必要を痛感し、三重県で全日本スヌーズレン研究会を設立。同年マーテンス博士の著書「スヌーズレンの基礎理論と実際」(大学教育出版)の翻訳出版。
2013年と2014年にマーテンス博士を招聘して、スヌーズレン資格セミナーを開催。
2014年 国際スヌーズレン専門支援士(国際スヌーズレン追加資格)取得。マーテンス博士の講演会を三重と大阪で数回開催。
2015年 日本スヌーズレン総合研究所を大阪府で設立。同年創始者たちの著書「重度知的障がい者のこころよい時間と空間を創るスヌーズレンの世界」(福村出版)の翻訳出版。
2016年 ISNA日本スヌーズレン総合研究所に改称。マーテンス博士より同研究所が「ISNA JAPAN」(イスナ・ジャパン)として正式に認定される。
2017年1月に機関誌「スヌーズレン教育・福祉研究 第1号」を創刊。
2019年 わが国初のスヌーズレン実践のテキスト「スヌーズレンの理論と実践方法—スヌーズレン実践入門—」を監修し出版。
2012年より日本特殊教育学会や日本LD学会等でスヌーズレンの研究発表とシンポジウムを開催。
2018年より毎年常葉大学で「日本スヌーズレン教育研究会」の研修会を開催。



ISNA日本スヌーズレン総合研究所・会長
嶺 也守寛

東洋大学
ライフデザイン学部人間環境デザイン学科教授
博士(人間科学)
専門:福祉デザイン工学、スヌーズレン器材開発

2022年9月 ISNA-Suisseにてスヌーズレン国際資格を取得
Formateur Snoezelen pour ISNA
福研究室ホームページ:<https://www.mine-laboratory.net/>

ご挨拶

2015年に大阪で開催された第1回のスヌーズレン研修会も今年で第11回目になりました。毎回、スヌーズレンを深く学びたいと言う熱心な方が多数ご参加頂いております。今回オンラインとしては3回目となりますが、参加者側の立場になりプログラム内容について議論を重ねた結果、従来よりもコンパクトな時間で、且つ内容の濃い研修会に仕上げました。是非、これからスヌーズレンを始めたい初学者の方から現場でスヌーズレンを実践されてプロフェッショナルな方まで、多数のご参加をお待ち申し上げます。

私事で恐縮ですが、ISNA-Suisseの代表であるDavid Grupe氏を師事し、2022年9月にISNA-Suisseの本拠地であるスイスのGrandsonにてスヌーズレン国際資格を取得致しました。当研究所は、ISNA-Suisse及びISNA-mseとも協定を締結した国際レベルの団体ですので、どうぞ引き続きよろしくお願い申し上げます。

お申し込みはHPで!

ISNA日本スヌーズレン総合研究所のホームページ(<http://snoezelen-research.jp/>)にて、研修会参加申込みフォームのリンクよりお申し込みください。右のQRコードで研修会参加フォームに入ることができます。



参加費はメールにて請求書を送付致しますので、銀行振り込みをお願い致します。参加費振り込み時の手数料は、参加者のご負担をお願い致します。参加者本人名義でのお振り込みをお願い致します。団体名義でのお振込みの場合は、事務局までご連絡ください。